100ドル札の逸話(湾岸戦争)

"これを君にやるから、俺の代わりに戦ってくれ"

「日本改造計画」p.36 「小沢主義」p.156



冷戦後

自立した国家にふさわしい役割を果たす対等なパートナーにならなければならない



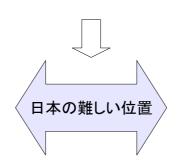
小選挙区制と政治主導による意志決定



戦後、冷戦中

米国の傘の下で繁栄の分け前 を分配すればよかった与野党 馴れ合いの政治

中選挙区制と全員一致の国会運営が万年野党を温存する



「自分の意志で」がポイント



憲法の制約

第九条は日本国政府が自分の 意志で海外における武力活動 を行うことを明瞭に禁止してい る。

「日本改造計画」p.124

周辺諸国

日本には不幸な過去があるから、自衛隊を国連の平和維持活動に提供すれば … 余計な疑念を起こしかねない。

「小沢主義」p.160

日米関係

日本の外交にとって最も重要 日本の繁栄と安全のためにも 必要不可欠

「小沢主義」p.146

経済政策も外交と一体のもの

自立した国家の自立した国民 を育てる教育を

米国から評価されなかっただけでなく…「米国従属の日本」という印象を植え付けた

「剛腕維新」p.27

国連の指揮下での貢献ならOK!!

国連に部隊を提供する

自衛隊は専守防衛



米国と国連の関係

アメリカを絶対に孤立主義に追い込んではならない … それは 日本外交の破綻である。

「日本改造計画」p.130

政治主導!国会における官僚 の答弁は禁止!



相手が米国だろうと

内閣法制局 国連だろうとダメ

集団的自衛権は保有するが行使はできない。



小泉内閣

イラクに戦に協力。戦闘には参 加しない。



国連と米国の関係は流動的。結局の ことろ、米国の意志の枠内でなければ 成立しない政策じゃないかな?



国連決議の無いまま米国がイラク戦を開始

Michinobu Maeda